

# グリア系培養細胞上清中に含まれる セリンプロテアーゼ様A $\beta$ 分解活性の解析

アミロイドーシスに関する調査研究班  
平成25年度研究報告会  
140123 KKRホテル東京

木棚究<sup>1</sup>、○富田泰輔<sup>2</sup>、秋下雅弘<sup>1</sup>、大内尉善<sup>3</sup>、岩坪 威<sup>2、4</sup>

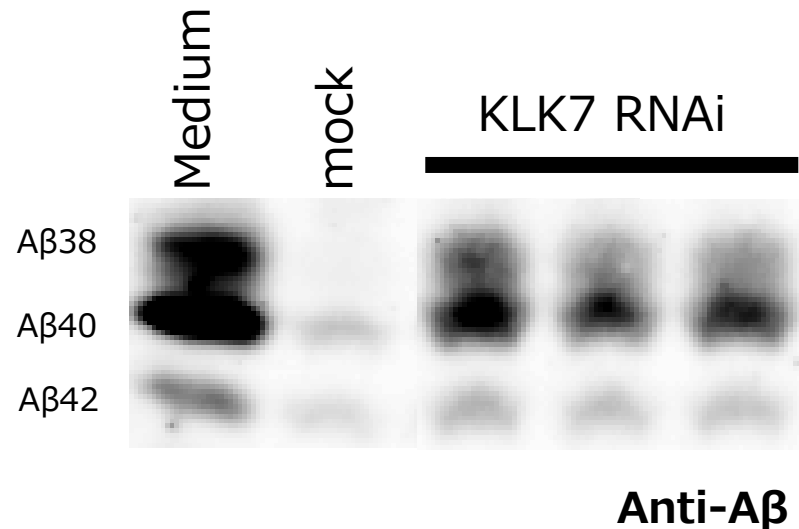
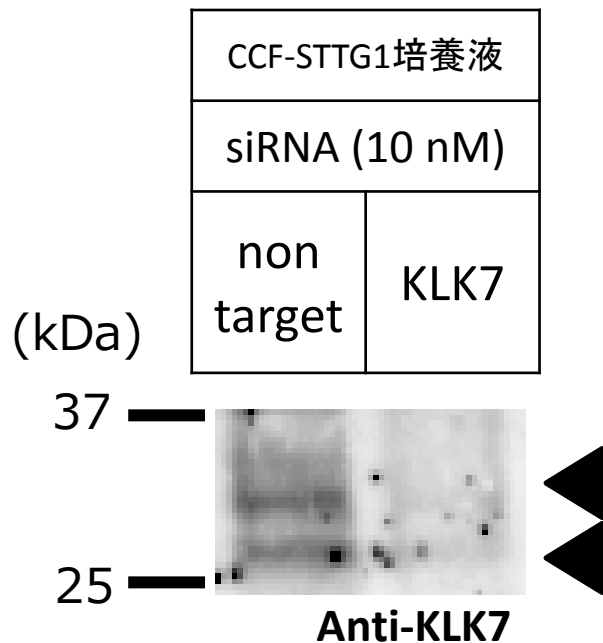
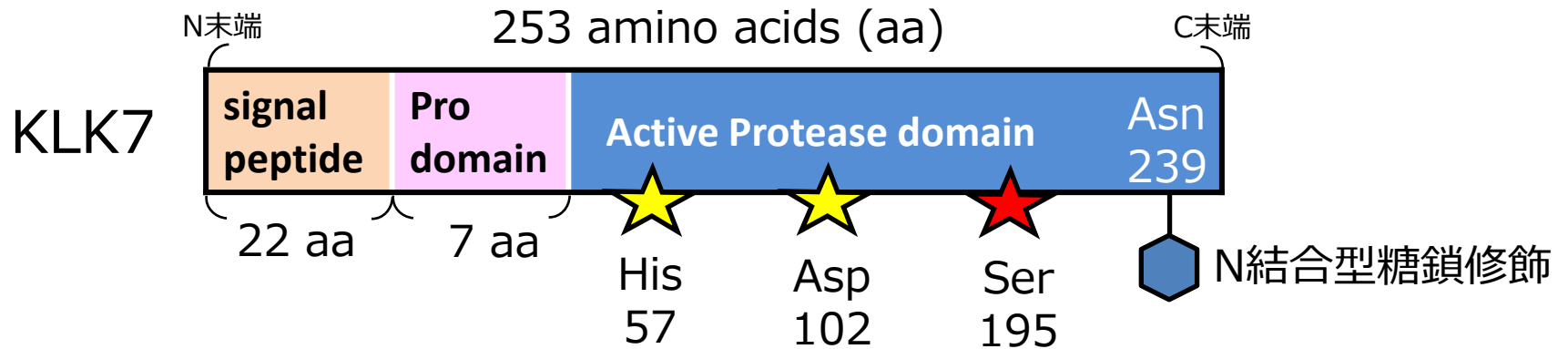
1) 東京大学大学院医学系研究科加齢医学講座

2) 東京大学大学院薬学系研究科臨床薬学教室

3) 虎の門病院

4) 東京大学大学院医学系研究科神経病理学分野

# ヒトグリオーマ由来CCF-STTG1細胞培養上清に KLK7依存性A $\beta$ 分解活性が存在する



# 新規A $\beta$ 分解酵素としてKLK7を同定

- ヒトアストロサイトーマ培養上清にA $\beta$ 分解活性を認めた
- KLK7にA $\beta$ 分解活性責任分子であると考えられる
- グリア細胞培養上清にA $\beta$ 分解活性とKLK7が認められる
- 脳内ではアストロサイトに発現が観察される